

『クラウドマイグレーション検討WG』 活動計画書

株式会社 日立製作所

1. WGの概要

目標

クラウドサービスへの円滑なマイグレーション実現に必要な共通課題を検討・抽出し、クラウドマイグレーションを検討・実施する際の指針を明確にする。

課題認識

既存ICTサービスからクラウドサービスへ移行する前提となる、**ユーザの視点でのシステム**利活用の要件や課題を抽出する議論がまだ本格化していない。

具体的検討項目

STEP1: 情報収集

検討が先行している団体や参加企業からの事例を受けて、検討スコープを絞り込む

STEP2: 課題検討

クラウドサービス移行の共通課題の抽出と解決のモデルプロセスを経営的観点を中心に検討する

STEP3: 具体化

抽出した共通課題と解決のモデルプロセスを文書にまとめる

導入効果（目標）

企業や団体が既存ICTサービスからクラウドサービスへ移行する場合に、経営的な観点から検討しておくべき要件や課題についての基本的なガイドラインを示すことができる。

2. WGの詳細

関連要素技術、サービス、システム

クラウドセキュリティ(データ、システム等の各分野)、システム運用管理技術

グローバル化関連

国際標準化団体へのBest Current Practice(最適事例)提案を通して、日本発のクラウドサービス事業のグローバル展開を支援する。

実施体制、役割分担

幹事

株式会社 日立製作所

事務局

株式会社 日立製作所 (情報・通信システム社 経営戦略室)

メンバー

議論に積極的に参加できるJCCのメンバー。有識者に関してはJCC非メンバーであってもよい。

対政府要望①：予算、税制支援等

WGの議論を通じて具体的に取りまとめたい。

たとえば、ICT利活用を促進するために従来措置された減価償却費の加速償却を認める税制支援の範囲の拡大や、環境負荷の軽減に貢献するクラウドサービスの利用を対象とした追加の減税措置などが考えられる。

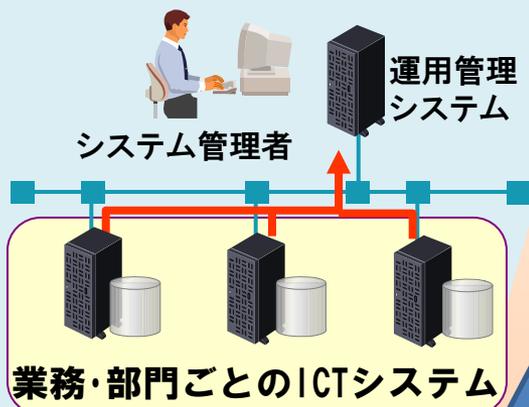
対政府対応②：制度、規制緩和等

WGの議論を通じて具体的に取りまとめたい。

たとえば、利用者の権利保障のための環境の整備によって安心・安全なクラウドサービスの利用を促進する制度や、クラウドサービスによる企業活動のボーダレス化に対応できる企業コンプライアンスを担保できる制度の整備などが考えられる。

3. ゴールイメージ

全体像

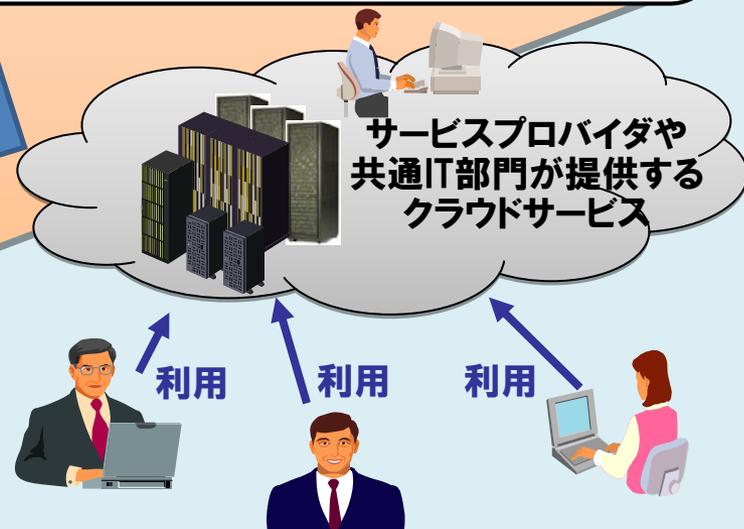
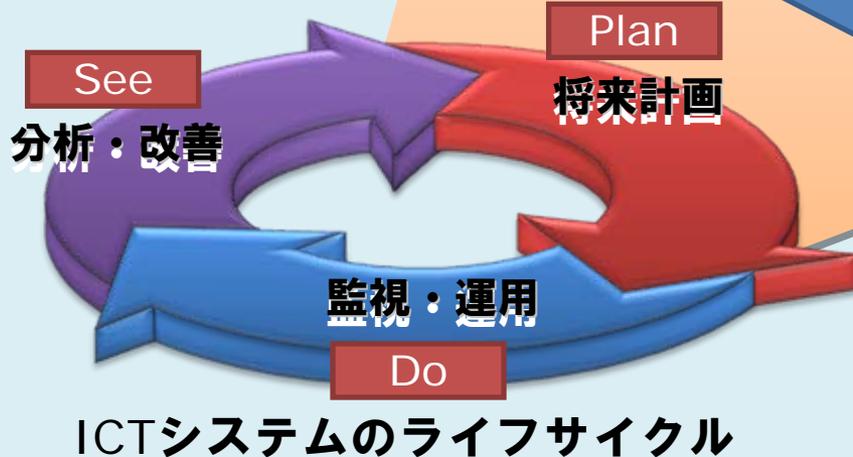


クラウドマイグレーションWGの検討範囲

クラウド移行に関わる共通課題の抽出

- ・ 経営の観点:
 - 業務効率への影響
 - ICT投資計画への影響など
 - ・ 技術の観点:
 - 移行によるシステム設計への影響
 - セキュリティ要件など
- 共通課題への取組み方法のモデルプラン

移行計画の
共通課題リスト:
モデルプラン:
テンプレート



4. スケジュール

全体像

